

フォーカストセッション AIエレクトロニクス

2020年春季学術講演会も開催します

フォーカストセッション「AIエレクトロニクス」では2019年春講演会では2日間で46件の講演を、秋講演会では41件の講演を行い、多くの方にご参加いただきました。3度目の2020年春も、引き続き以下のスコープで開催する予定です。さらに今回は、エレクトロニクス実装学会との協同企画によるシンポジウム「ポストムーア時代を切り拓くアーキテクチャと革新デバイス/システム」も開催します。登壇申込方法は通常セッションと同じです。分類でフォーカストセッション「AIエレクトロニクス」を選び、是非ともご登壇ください。

keyword

ニューロモルフィック、脳型コンピュータ、シナプス、STDP、ニューラルネット、神経回路、リザーバコンピューティング



講演奨励賞
にも応募
できるん
ですね

このセッションで
講演奨励賞を
取った人が
いるんだって

<スコープ>

トランジスタ微細化を基盤としたノイマン型コンピュータの進化に限界が見えてきている現在、新しいコンピューティングアーキテクチャの登場が期待されている。2012年のImageNetでの飛躍的な画像認識率向上の発表をきっかけに機械学習・深層学習の有用性が共通の認識となってきたが、それに特化したコンピュータの基盤技術となるAIエレクトロニクスの研究はまさに始まったばかりと言ってよい。本セッションではAIハードウェアの低消費電力化、高速化に適した材料・素子・アーキテクチャ技術、およびその研究開発のための測定評価解析技術、さらにはAIハードウェアの模倣対象である脳神経細胞機能に関する発表を併せて議論をしていく。